



THE SERVICE CLUB OF YMCA  
THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

2026年2月

# 札幌クラブ

c/o YMCA  
MINAMI 11 NISHI 11  
CUO-KU SAPPORO  
〒064-0811  
011(561)5217

**TOF/FF/HTW (Time of Fast/Family Fast/Heal the World)**

CHATERED IN

一 主 題 NOVEMBER 21, 1955

国際会長

Faith, Love, Action

Edward Ong (シンガポール)

アジア会長

Act now with faith and love!

田上 正 (熊本むさし)

東日本区理事

『ワイズのらしさ再発見』

山下 真 (十勝)

Rediscovering Y's Uniqueness

北海道部部长

「Well Beingなワイズライフを」

柴田 伸俊 (札幌)

札幌クラブ会長

「充実した人生を送るためのワイズ活動」

小野 健 (札幌)

札幌クラブ役員

会 長 小野 健  
副会長 山崎 修  
書 記 本宮 大輔  
会 計 秋葉 聡志  
直前会長 小野 健

「耐えた分だけいい風が吹く」

葛西 紀明 (2014) (本宮 大輔 選)

## 巻頭言 3クラブ合同例会

柴田 伸俊

今年も北海道部三クラブの合同例会を企画してみました。北海道の恵まれた自然の中で片道3時間~5時間の三クラブが何か楽しい事が出来ないかと考えた末、去年のピアノコンサート打上会で話を出してみたところ十勝クラブが話に乗ってくれ去年実施の運びとなりました。去年は山崎コメットも参加してくれとても楽しい会となりました。スキー体験と温泉巡りはまさに北海道らしい楽しみ方と思いました。

日程を合わせる事や合同例会と言う名称で、今一つ会員へのアピールが浸透していませんが続ける事によってワイズの楽しみ方を模索できたらと思います。先月(1月)北見の新年会に部長公式訪問で参加してきました

た。なんとマイナス20度は初体験でしたが、その折「十勝クラブの山菜例会も一回参加したいんだがな・・・」と話されている会員もおられました。「北見はカーリング体験だな！」の意見も出ました。まだまだ楽しいワイズライフはそれぞれのクラブが秘蔵しています。発見に動きましょう。



2026年1月例会

在籍会員 11名

出席者 8名

メネット 0名

メーキアップ 0名

出席報告

ゲスト 0名

ビジター 0名

出席者合計 8名

出席率 61%

## 札幌ワイズメンズクラブ 2026年2月例会

日時：2026年2月7日（土）、8日（日）  
会場：カムイスキーリンクス&三浦華園  
会費：1,500円

- |                 |      |       |
|-----------------|------|-------|
|                 | 司会   | 山崎 修  |
| ① 開会点鐘          | 会長   | 小野 健  |
| ② ワイズソング、ワイズの信条 | 全 員  |       |
| ③ 今月の言葉・なぜこの言葉を | 本宮大輔 |       |
| ④ 開会あいさつ        | 会長   | 小野 健  |
| ⑤ 誕生日           | 2月6日 | 小谷 由子 |
| ⑥ 結婚記念日         | なし   |       |
| ⑦ 諸報告           |      |       |
| ⑧ YMCA報告        | 担当主事 | 北川 佳治 |
| ⑨ 今月の歌          |      |       |

### 「栄光の架橋」

ゆず(2004) 山崎 修 選

- ⑩ 閉会点鐘 会長 小野 健

## 札幌ワイズメンズクラブ 2026年1月例会

日時：2025年1月20日（火）18:30~20:30  
場所：札幌YMCA101教室+リモート  
出席者：秋葉、小谷、北川、柴田、伏木、宮崎、  
安田

卓話者：清水 彰さん（弁護士、北海道YMCA監事）  
出席者計 9名

### 内容：

1990年代は、バイクブームでした。若者は皆、バイクに乗り北海道に向かいました。当時、私は東京で学生生活を送っていました。私はアルバイトをして中古のオフロードバイクを買いました。バックパックを荷台に括り付け、北海道に向かいました。

北海道に上陸すると、ライダーの憧れの地、道東にバイクを走らせました。野宿をしたり、

ライダーハウスに泊まったりしました。ライダーハウスは無料か1泊500円程度でした。町営のライダーハウスも結構ありました。本州からの移住者が敷地にコンテナを置いて、それをライダーハウスにしているのもありました。漁師が番屋をライダーハウスにしていたり、国政選挙のときには選挙事務所にしている一軒家を、それ以外の時にはライダーに解放しているところもありました。キャンプ場でテントを張ることもありましたが、今のように整備はされておらず、大抵無料でした。

お金がなくなれば、農家や漁師のもとでアルバイトをしました。6月は美瑛、富良野で農作業、その後は、羅臼に移動し、7月は羅臼昆布、8月はホタテの稚貝養殖のアルバイトをしました。番屋に住み込み、出目さんと一緒に働きました。動きがよいと、親方から船で働かないかと声がかかります。船で働いたとなると、ライダーとして格が上がります。都会から来ているライダーが多いので、漁師の仕事は特に人気がありました。人材派遣が禁止されていたので、繁忙期の働き手としてライダーは重宝されていました。漁師のアルバイトは食事も楽しみです。いくら、ホタテ、イカ刺し、何でも食べ放題です。

9月になる鮭の解禁に伴い、シャケバイが始まります。水産会社が飯場旅館を借り切り、大量にライダーを雇います。そして早朝に買い付けた鮭を一挙に捌いていくのです。10月下旬ころまで続きます。

その後、ライダーは越冬地に散っていきま。沖縄に向かう者いれば、ニセコで冬を越すライターもいました。ゴールデンウィーク明けまで、ニセコでリフト係をするのです。

私は学生の頃、4月に単位登録をすると北海道に向かい、10月頃まで道東、道北を転々とし、10月下旬頃東京に戻り、4月頃まで司法試験の勉強をするという生活をしていました。大学卒業後も就職はせず、札幌の実家に身を寄

せて学生の頃と同じ生活を続けました。バックパッカーとして東南アジアをふらついていた頃もあります。

気がつくと30歳を超えていました。いつまでも司法試験に受からず、無職のままでした。学生の頃の友人は、就職して、結婚をし、子供も生まれています。自由気ままな生活を送っていたともいえますが、どこにも帰属せず、無職のままである不安、焦りはありました。

何事にも終わりはありません。司法試験制度が廃止され、法科大学院が始まるという報道がなされました。父が体調を崩し、このままの生活を送るわけにはいかなくなりました。私は初めて本気で勉強をし、幸いにもなんとか司法試験に合格し、弁護士になることができました。

久しく旅に出ていません。20代の頃を懐かしく思い出します。長い人生ですから、無為に過ごす時期あってもよいのではないかと思います。何かと効率や経済合理性が重視される時代ですが、若者は旅に出て、世界を見て回ることも大切ではないかと思います。

## YMCA ニュース 担当主事 北川 佳治

### <スプリングプログラム

#### および新年度キッズプログラム好評受付中！>

2025年度短期集中スプリングプログラムおよび2026年度年間キッズプログラムの募集が2月2日（月）より開始しました。アクアティック・フロアスポーツ・野外活動・文化芸術学習・英語など、豊富なラインナップを揃えて、子ども達の体験活動をサポートいたします。各プログラム好評につき、お早めのお問い合わせ・お申込みを！

YMCAは、引き続き、ワイズメンズクラブと協同のもと、地域のコミュニティウエルビーイングを拡げていきます。



### <YMCA ピンクシャツデー2026>

今年もピンクシャツデー（いじめ反対運動）を2月25日（水）に全国のYMCAで一斉実施します。社会全体がいじめに対して「自分ごと」として向き合うこと、そして被害者と加害者以外の立場にいる人が「傍観者にならないこと」が、傷つけ合うことのない平和な社会につながっていくと私たちは考えます。一人ひとりが勇気をもって、「自分でない誰かのために」、そして自分たちのために行動しませんか？YMCAは、そのようなポジティブで前向きな「よくなる」の連鎖を大切にします。

### 何故この言葉を 本宮 大輔

葛西選手がソチ五輪での活躍についてインタビューを受けたときの言葉です。

努力し続けるときの心の支えになる一言。今年の冬季五輪も幕開けです。

## 札幌クラブ 2026 年 1 月事務会報告

本宮大輔

日時： 2025 年 12 月 16 日（火）19:00～19:40

場所： 札幌 YMCA 総主事室+オンライン

出席者： 北川

（OL）小野（長）、小谷、伏木、宮崎、山崎

### 1. 2 月号ブリテンについて

原稿執筆担当者、ブリテン編集担当（仮）などを資料に基づき協議、決定

### 2. 2 月例会（北海道 3 クラブ合同例会）について

日時：2025 年 2 月 7 日（土）～8 日（日）

場所：カムイスキーリンクス（旭川市神居町）

ホテル三浦華園（滝川市花月町）

卓話：なし

### 3. 2026 年 3 月～の例会卓話について（案）

2026 年 3 月 17 日（火）田口圭三さん

経営未来塾、調剤薬局業界などのお話

### 4. 東日本区ワイズ関連確認

○区費納入確認（秋葉メン対応）

○ドバイ企画参加 札幌からは参加なしで決定

○2026 ユースアクションについて

汝羊寮生へ小野会長よりリマインド

### 5. 次期の役員（会長）

候補メンの諸事情を鑑みて小野会長が会長を再任することで合意

役員研修会@東山荘の参加を小野会長以外のメンに打診を検討。

以上

## 何故この歌を！山崎 修

オリンピックを象徴する名曲「栄光の架け橋」を選曲いたしました。

この曲には、勝利の瞬間だけでなく、そこに至るまでの厳しい練習、迷い、挫折、そしてそれでも挑戦をやめない“アスリートの魂”が込められています。

限界に挑み続ける姿、

自分自身に打ち勝とうとする強い意志、仲間とともに前へ進む力。

そのすべてが、この力強い旋律と歌詞から伝わってきます。

スポーツが私たちに教えてくれる

「挑戦することの尊さ」

「努力を積み重ねることの価値」

「最後まであきらめない心」。

本日の歌が、

それぞれのフィールドで挑戦を続ける私たちに、新たな勇気とエネルギーを与えてくれることを願っております。